

藤村庸軒流茶書

顯岑院本 一

白寄 顯成 著

2012年3月刊行予定

▶ A 5判・500頁／定価11,025円 (税5%込)

ISBN978-4-7842-1624-6

京都の紫雲山くろ谷金戒光明寺の塔頭である顯岑院には多くの庸軒流茶書が伝えられている。本書には、その中から息子の正員が庸軒の茶話を筆記したと思われる『藤村庸軒茶談』のほか、観山によって定められた庸軒流茶道の基本となる稽古次第を中心に収める。

目次

庸軒流茶書について

藤村庸軒茶談

庸軒流茶道稽古次第について

—菓子之茶之事・独客之心得之事・夜咄茶事之事・
夜込之茶之事・跡見之事—

庸軒流二十五条について (1)

—四大事 (唐物点・茶通点・盆点・台天目点) —

庸軒流二十五条について (2)

—盆天目点・宗旦作盆天目袋棚点・真長盆点—

庸軒流二十五条について (3)

—花の茶湯について—

庸軒流二十五条について (4)

—壺飾・外題飾・盆石—

庸軒流二十五条について (5)

—数奇伝・庭石之伝・茶匙伝—

庸軒流二十五条について (6)

—極真台子・及台子—

庸軒流二十五条について (7)

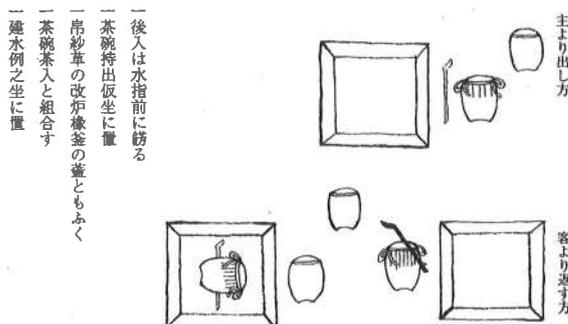
—台子十六手前・長板手前—

庸軒流二十五条について (8)

—普請伝・花生墨—

庸軒流二十五条について (9) —香之茶—

茶道草枕・庸軒流生花秘伝書・生花正伝以呂波哥



- 一 柄杓を引一礼居前改
- 一 居前の俵盆五歩水引
- 一 茶入を取前に置
- 一 盆鈔付の俵居前にてよく
- 一 ふき方は風炉手順書圖の通り
- 一 茶入扱方例之通ふき終て盆正中に置 但し茶入盆に置ときは膝寄るなり
- 一 帛紗改匙をふき風炉手順書圖に記す通盆に置
- 一 茶盆唐物点の通内量の目三つ目に置
- 一 茶をはき匙茶碗に預る
- 一 茶入蓋は盆正中に置
- 一 一点茶例之通り終て
- 一 匙茶碗に懸て茶碗に置たる俵盆船引戻す
- 一 茶碗飯坐到に置
- 一 釜に水はる
- 一 茶入を持表に廻り茶入ふき蓋
- 一 風炉手順書の同圖の通り盆の前に置
- 一 三種出し方通例
- 一 盆出すときは帛紗蓋の改風炉同断中誠にてふき帛

組見本
144

(しらすき けんじょう)

1941年京都・顯岑院に生。京都大学大学院文学研究科修士課程(宗教学仏教学専攻)修了。密教圖像学会常任委員、京都花連研究会会長、神戸女子大学名誉教授。『蘭室藤村正員年譜考』(思文閣出版、2003年)。『藤村庸軒年譜考』(思文閣出版、2009年)。『藤村庸軒をめぐる人々』(思文閣出版、2011年)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	藤村庸軒流茶書 顯岑院本一 本体10,500円(税別) ISBN978-4-7842-1624-6			
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				
					書店番線印

藤村庸軒年譜考 [全2冊]

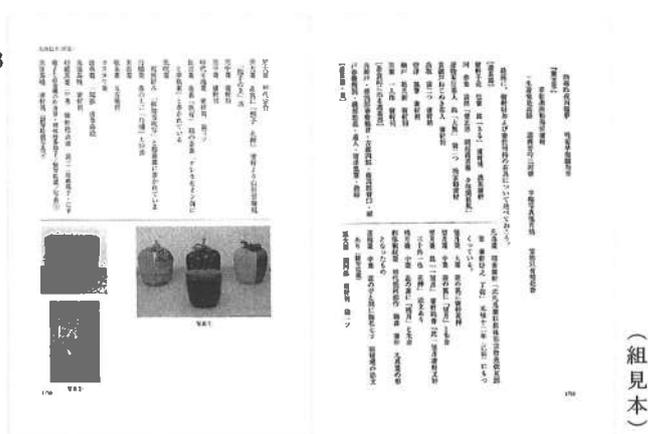
白寄顕成著

2009年6月刊 好評発売中

▶A5判・総1848頁／定価36,750円 (税5%込)

ISBN978-4-7842-1456-3

藤村庸軒（1613～1699）は、儒者・儒学者であり、漢学・和学にわたる広い教養と、卓越した美的センスにより、漢詩・和歌・作庭・花道・茶具の製作に才能を発揮した。多くの文人墨客との交わりをその詩集に書き残している。また、創意工夫による独自の茶の技を展開し、道としての解脱に至り、庸軒流茶道を完成させた。本書は、庸軒の生涯の動向を、文献学的方法にもとづき歳ごとに明かした異色の年譜考。茶道を軸とした近世文化史の魅力を余すところなく伝える一書。



藤村庸軒をめぐる人々

白寄顕成著

2011年3月刊 好評発売中

▶A5判・790頁／定価17,325円 (税5%込) ISBN978-4-7842-1554-6



本書は、一族の人々・門弟達・儒教の師・茶道の師・友人の儒者・医師達の事蹟をたどることで、現在も続いている庸軒流の開祖、藤村庸軒の実態について新たな角度からのアプローチを試みる。

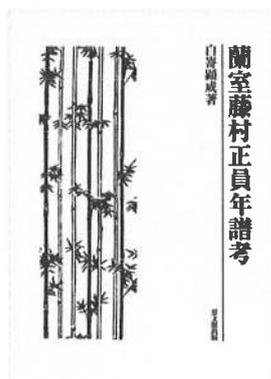
《掲載人物》【三宅亡羊】漢学の師／【千宗旦】茶道の師／【藤村恕堅】庸軒長男／【藤村正員】庸軒三男／【久須見疎安】庸軒娘婿／【北村幽安】庸軒門弟／【山本退庵】庸軒の門人／【大文字屋宗積】庸軒縁戚／【有馬涼及】庸軒の友人／【田屋横井等怡】庸軒の義父

蘭室藤村正員年譜考

白寄顕成著

2003年12月刊 好評発売中

▶A5判・480頁／定価6,090円 (税5%込) ISBN4-7842-1173-X



庸軒流茶道の祖、藤村庸軒の三男藤村正員（1650～1733）の事跡について、自著『蘭室草』の収録作品（漢詩・和歌など）にそいながら、生涯の動向を歳ごとに明かした異色の年譜考。漢詩にみられる父庸軒ほか一族との交流や、広汎な諸資料にもとづいた京坂の茶人・文人たちとの交わりは、茶道を軸とした近世文化史の一側面を伝える趣きを備えた一書。